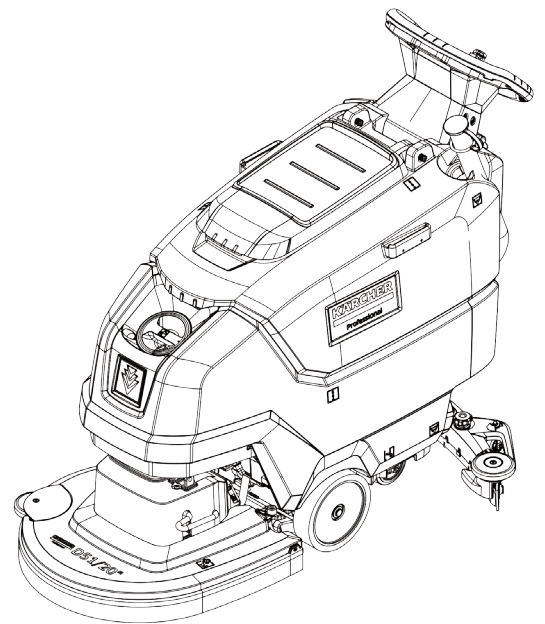


BD 50/55 W Classic Bp

目次

一般的な注意事項	2
機能	2
規定に沿った使用	2
環境保護	2
対応アクセサリと交換部品	2
同梱品	2
安全注意事項	2
機器に関する説明	6
取り付け	7
機器の準備	8
機器の使用	9
機器の運搬	12
保管	12
お手入れとメンテナンス	12
故障かな?と思ったら	15
保証	15
対応アクセサリ	16
テクニカルデータ	17



一般的な注意事項



機器を初めて使用する前に、この取扱説明書の注意事項と記載事項に従ってください。本製品に同梱されているすべての取扱説明書は、いつでも閲覧できるように大切に保管してください。

機能

この床洗浄機は、平らな床のウェットクリーニングに使用されます。

水と洗浄剤を適切な割合で混合することにより、それぞれのクリーニング作業に合わせて機器を調整することができます。洗剤の希釈率は、タンクに追加する量によって調整します。

清水用タンクと汚水用タンクの容量（P.17「テクニカルデータ」を参照）により、長時間の作業で効果的な洗浄が可能になります。

BD 50/55 W Classic Bp は駆動モーター付きです。

注意事項

機器には、それぞれのクリーニング作業に応じてさまざまな対応アクセサリを装備できます。カタログをお求めいただくか、ケルヒージャパンホームページにアクセスしてください。

規定に沿った使用

この機器は、ホテル、学校、病院、工場、店舗、オフィス、レンタル会社などの商用および産業用に適しています。この機器を使用する際は、必ず取扱説明書に記載された指示に従ってください。

- この機器は、湿気や研磨の影響を受けない滑らかな床の掃除にのみ使用できます。
- この機器は、凍った床の清掃には適していません（例：冷蔵倉庫）。
- この機器は、爆発の可能性のある環境での使用には適していません。
- この機器は、使用可能な最大傾斜作業範囲が決まっています（P.17「テクニカルデータ」を参照）。

環境保護



梱包材はリサイクル可能です。各自治体の規定に沿ってリサイクル処理してください。



電気機器および電子機器には、誤って取り扱ったり廃棄したりすると人間と環境に危険を及ぼす可能性があるバッテリーや充電式バッテリーパックあるいはオイルなどが含まれています。これらは機器が適切に機能するために必要な構成要素です。このシンボルが表記されている機器は、各自治体の規定に従って廃棄してください。

対応アクセサリと交換部品

純正のアクセサリおよび純正のスペアパーツのみ使用してください。これにより機器を安全にトラブルなくご使用できます。アクセサリやスペアパーツに関する詳細については、ケルヒージャパンホームページをご覧ください。

同梱品

開梱の際に内容物が揃っているか確認してください。

付属品が欠けている場合や輸送による損傷があった場合は販売業者にご連絡ください。

安全注意事項

機器を初めて使用する前に、この取扱説明書を読んで遵守し、それに応じて行動してください。

この機器は、使用可能な最大傾斜作業範囲が決まっています（P.17「テクニカルデータ」を参照）。



警告

機器の転倒に注意

むやみに機器を傾斜面で使用しないでください。

機器は、フードとすべてのカバーが閉じている場合にのみ使用できます。

安全機器



注意

安全装置を取り外したり改造しない

安全装置は使用者を保護するためのものです。

安全装置に変更を加えたり、無効にするのは絶対におやめください。

安全スイッチ（ハンドルスイッチ）

安全スイッチ（ハンドルスイッチ）を離すと、機器のスイッチがオフになります。

キースイッチ

キースイッチを取り外して、機器の不正使用を防止できます。

警告シンボル

バッテリーを取り扱うときは、次の警告に従ってください。

	バッテリーの取扱説明書の情報を確認してください。
	目の保護具を着用してください。
	子供を酸やバッテリーから遠ざけてください。
	爆発の危険性
	火、火花、裸火、喫煙は禁止されています。
	化学火傷のリスク
	応急処置
	警告通知
	廃棄
	バッテリーをゴミ箱に捨てないでください。

安全上のご注意

⚠ 危険

- この注記は機器の誤った取り扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う可能性が高い危険事項が記載されています。

⚠ 警告

- この注記は機器の誤った取り扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う可能性がある警告事項が記載されています。

⚠ 注意

- この注記は機器の誤った取り扱いにより、使用者が傷害を負う可能性がある注意事項が記載されています。

注意事項

- この注記は機器の誤った取り扱いにより、物的損害につなが

る可能性があります。

保護具

⚠ 注意

- デバイス进行操作するときは、適切な手袋を着用してください。

一般的な安全上の注意

⚠ 危険

- 窒息の危険があります。フィルムのパッケージは子供の手の届かないところに保管してください。

⚠ 警告

- 機器は適切に使用するのためにのみ使用してください。機器を操作するときは、周囲の状況を把握し、第三者、特に子供に注意してください。
- この装置は、身体的、感覚的、精神的な能力に制限がある人、または経験や知識が不足している人による使用を前提としていません。
- 機器の使用方法を指示された、または操作能力を証明し、明示的に使用を指示された人のみが機器を使用する必要があります。
- 子供が本機器を玩具として遊ばないように触らせないでください。

注意事項

- 安全装置はあなた自身の保護のために提供されています。安全装置を改造したり無効にしないでください。

感電の危険性

⚠ 危険

- 機器の電圧は、電源の電圧と一致する必要があります。
- 濡れた手で電源ソケットや電源プラグには絶対に触れないでください。
- 保護クラスⅠ機器は正しくアースされた電源に接続してください。

⚠ 警告

- 漏電時はすぐに機器のスイッチをオフにします。
- 機器から泡が発生したり、液体が漏れたりした場合は、すぐに機器のスイッチをオフにして、充電式バッテリーパックを取り外してください。
- 電源ケーブルと電源ケーブルの電源プラグが付いている場合は、毎回動作前に破損がないか確認してください。電源ケーブルが破損した場合は、機器を使用しないでください。破損した電源ケーブルを、認可カスタマーサービスまたは認定電気技師に依頼して交換してください。
- 電源ケーブルや延長ケーブルをの上を走ったり、押しつぶしたり、引っ張ったりして、損傷を与えないでください。電源ケーブルを熱、オイル、鋭利なものから保護してください。

- ・ ケーブル交換時を含め、メーカーが規定するメイン接続ケーブルのみを使用してください。種類と注文番号については、取扱説明書を参照してください。
- ・ 電源または延長ケーブルのカップリングの交換は、同じスブラッシュガードと強度を持つカップリングと交換してください。

注意事項

- ・ スイッチをオンにすると、一時的に電圧降下が発生します。
- ・ 電源の状態が悪いと、他の機器が故障する可能性があります。

操作

⚠ 危険

- ・ 危険区域（サービスステーションなど）で機器を使用する場合は、その区域の安全規則を順守してください。
- ・ 爆発の危険性がある場所での操作は禁止されています。
- ・ 液体、可燃性ガス、爆発性粉塵、および希釈されていない酸や溶剤をスプレーしたり、掃除機をかけたりしないでください。これらには、ガソリン、シンナー、または灯油が含まれます。これらは、吸引空気の乱流によって爆発性の蒸気または混合物を形成する可能性があります。また、アセトン、未希釈の酸および溶剤は、機器を浸食します。
- ・ 燃焼またはくすぶっている物体 / 物質を吸引しないでください。

⚠ 警告

- ・ 人や動物の清掃に使用しないでください。
- ・ 傾斜面では、取扱説明書に記載されている進行方向と傾斜角を超えないようにしてください。
- ・ 回転部分に引っ掛かって飛び散る可能性のある物体が作業領域にないことを確認してください。
- ・ 回転部分に引っ掛からないように、ぴったりした服を着用してください。（ネクタイや、長いスカートや幅の広いスカートは避けてください）

⚠ 注意

- ・ 操作の前に、機器とアクセサリ、特に主電源接続と延長ケーブルを毎回チェックして、安全で正しく機能していることを確認してください。損傷があった場合は電源プラグを抜いて、機器を使用しないでください。
- ・ 機器の動作中は、機器を放置しないでください。機器から離れる場合は、機器を停止し、意図せず動かないように機器を固定し、必要に応じてパーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを取り外してください。
- ・ 漏れが発生した場合は、すぐに機器のスイッチをオフしてください
- ・ 機器の使用中は絶対にカバーを開けないでください。
- ・ この機器は、健康に有害なほこりを吸うのには適していません。

注意事項

- ・ 0° C 未満の温度で機器を操作しないでください。
- ・ 取扱説明書で指定されているアクセサリとアタッチメントを

- ・ 接続する場合にのみ、機器のソケットを使用してください。
- ・ 機器は掃除機ではありません。吐水した量より多くの液体を吸引しないでください。乾燥した汚れを吸引するために機器を使用しないでください。
- ・ この機器は、取扱説明書に記載されている床面での使用にのみ適しています。
- ・ この機器は、水位 1cm までの湿ったフロアに適しています。水位が 1cm を超える場所では使用しないでください。
- ・ 汚水と塩水を処分するときは、法規制を遵守してください。
- ・ イグニッションキーが装備されている機器からイグニッションキーを取り外して、不正使用を防止します。
- ・ 低温の屋外で機器を使用しないでください。

洗剤

⚠ 注意

- ・ 洗剤は子供の手の届かないところに保管してください。
- ・ 推奨される洗剤を希釈せずに使用しないでください。
- ・ これらの製品は、酸、アルカリ、または環境に有害な物質を含まないため、安全に使用できます。洗剤が目に入った場合は、すぐに水で十分に洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。洗剤を飲み込んだ場合も同様です。
- ・ ケルヒャーが推奨する洗剤のみを使用し、洗剤メーカーが指定した使用方法、廃棄方法、および加温の指示に従ってください。

回転ブラシ / ディスク

⚠ 危険

- ・ 感電の危険があります。主電源接続または延長ケーブルをクリーニングヘッドの回転ブラシ / ディスクと交差させないでください。

⚠ 注意

- ・ 不適切なブラシ / ディスクの使用はたいへん危険です。機器に付属のブラシ / ディスクまたは取扱説明書で推奨されているもののみを使用してください。

バッテリー

⚠ 危険

- ・ 爆発するおそれがあります。裸火をバッテリーやバッテリーを充電する部屋に近づけないでください。また、バッテリーを充電する部屋やバッテリーの近くで火花や煙が発生しないようにしてください。
- ・ 爆発および短絡のおそれがあります。バッテリーに工具などを置かないでください。
- ・ 適切な消火剤は、二酸化炭素、水、泡、および粉末です。

⚠ 注意

- ・ バッテリーの酸により怪我をするおそれがあります。それぞれの安全規則を順守してください。

- バッテリーとバッテリー液を取り扱うときは、保護手袋、保護服、ゴーグル、マスクを着用してください。
- バッテリー液で汚れた、または濡れた衣服はすべてすぐに脱いでください。バッテリー液と接触した皮膚の部分は水で洗うか、シャワーを浴びてください。
- 目に入った場合：水で15分以上軽くすすいでください。必要に応じて、コンタクトレンズを取り外し、すすぎを続けます。
- バッテリー液のガスを吸入してしまった場合：きれいな空気で呼吸してください。
- バッテリー液を飲み込んでしまった場合：すぐに大量の水を飲んでください。活性炭を摂取します。嘔吐を誘発しないでください。
- すぐに医療センターまたは医師に連絡してください
- バッテリー液が地面や下水道に到達しないようにしてください。
- こぼれたバッテリー液は、結合剤（砂など）で広がるのを防ぎます。
- バッテリー液を石灰またはソーダで中和し、各自治体の規定に従って処分してください。

注意事項

- バッテリーと充電器メーカーの取扱説明書に従ってください。バッテリーの取り扱いに関する安全注意事項を順守してください。
- バッテリーを放電状態のままにせず、できるだけ早くバッテリーを充電してください。
- 漏れ電流を避けるために、バッテリーは清潔で乾燥した状態に保ってください。バッテリーを汚染や金属粉から保護します。
- 使用済みバッテリーは、各自治体の規定に従って廃棄してください。

空気入りタイヤの場合

⚠ 注意

- 修理とスペアパーツの取り付けは、認可カスタマーサービスのみが行ってください。
- 機器を操作するときは、常に適切な手袋を着用してください。
- スプリットホイールリムを備えた機器の場合：タイヤの空気圧を設定する前に、すべてのホイールリムボルトがしっかりと締められていることを確認してください。
- タイヤの空気圧を設定する前に、コンプレッサーに減圧弁が正しく設定されていることを確認してください。
- タイヤの最大空気圧を超えないようにしてください。タイヤの空気圧は、タイヤと、必要に応じてホイールリムで読み取る必要があります。これらの値が異なる場合は、小さい方の値を使用してください。

搭乗式の機器の場合

⚠ 危険

- 機器は公道での使用は許可されていません。公道で使用可能にする変換キットについては、販売店にお問い合わせください。
- 乗客を運ぶことは禁止されています。
- シートに座って使用してください。
- 落下物によって使用者が立ち往生する可能性のある場所では、落下物から保護するためのオーバーヘッドガードなしで機器を使用しないでください。

ケアとサービス

⚠ 警告

- クリーニング、サービス、部品の交換、および別の機能への切り替えの前に、機器のスイッチをオフにして、イグニッションキーを取り外す必要があります。主電源で動作する機器の主電源プラグを外します。バッテリー駆動の機器では、バッテリープラグを抜くか、バッテリーを取り外します。

⚠ 注意

- 修理作業、スペアパーツの取り付け、および電気部品の作業は、認可カスタマーサービスのみが行ってください。
- 修理は、関連するすべての安全指示に精通している、この分野で資格のある承認されたカスタマーサービスまたはスタッフのみが実行できます。
- 水の流れる弁の部分は定期的に清掃し、損傷の兆候がないか確認します。

注意事項

- 産業用機器の安全検査に注意し、各地域の規制に従ってください。
- 短絡や故障の恐れがありますので、ホースや高圧ウォータージェットで機器を清掃しないでください。

アクセサリとスペアパーツ

⚠ 注意

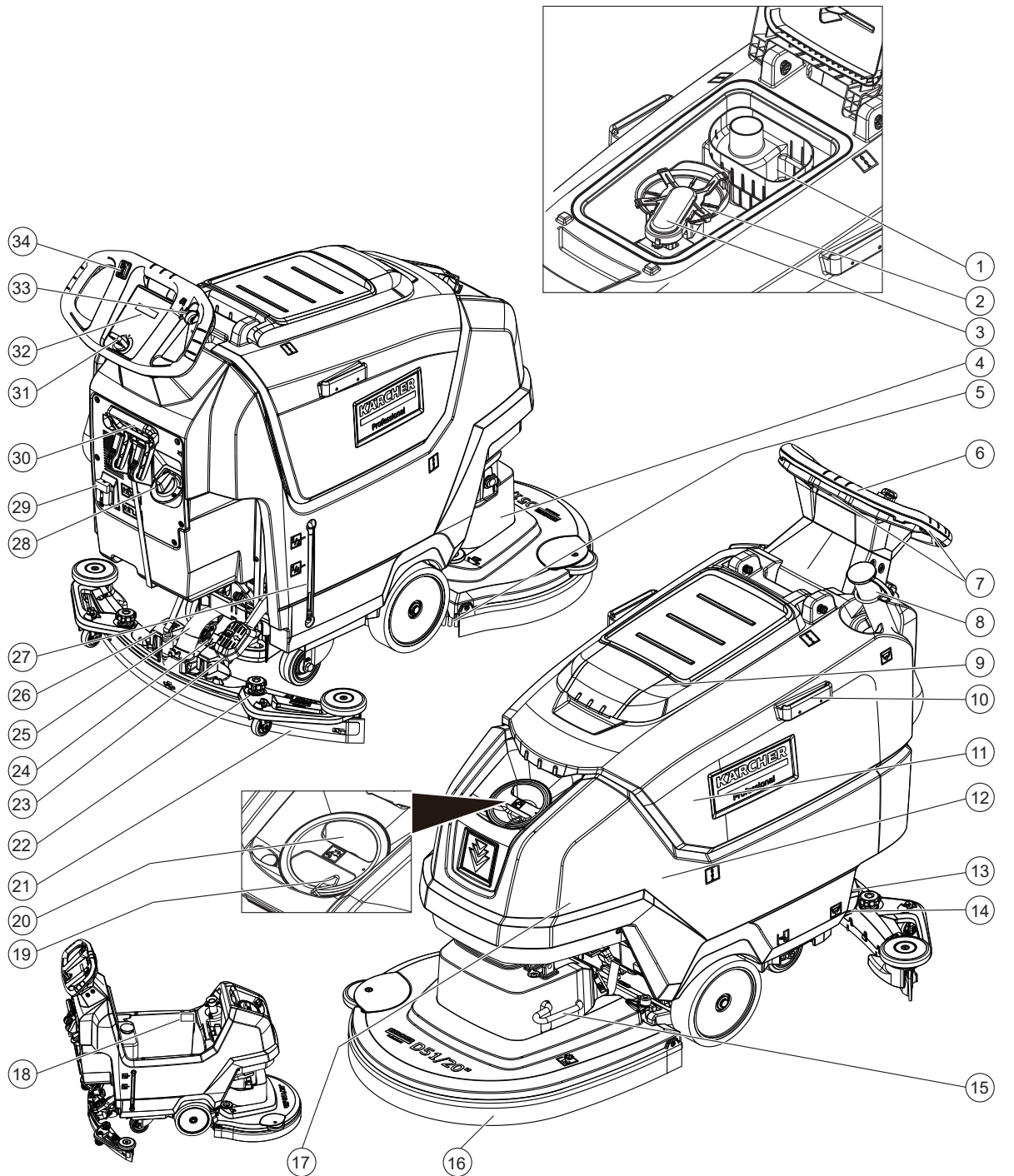
- ケルヒャーが認定したアクセサリとスペアパーツのみを使用してください。純正アクセサリと純正スペアパーツのみが、機器が故障なく安全に動作することを保証します。

機器の運搬

⚠ 注意

- 輸送前にモーターを停止してください。重量を考慮して、機器を固定します。取扱説明書の P.17「テクニカルデータ」を参照してください。

機器の概要



- | | | |
|---------------------|--------------|---------------------|
| ① 粗ゴミフィルター | ⑬ 清水用フィルター | ⑳ サクションホース |
| ② フロートフィルター | ⑭ 清水用タンクの排水栓 | ㉑ スクイジー取り付けレバー |
| ③ フロート | ⑮ ブラシリリースペダル | ㉒ 水の充填レベル表示 |
| ④ ブラシヘッド | ⑯ スプラッシュガード | ㉓ 水量調整ノブ |
| ⑤ ディスクブラシ | ⑰ 清水用タンク | ㉔ バッテリー用コネクター (機器側) |
| ⑥ ハンドル | ⑱ 銘板 | ㉕ スクイジーレバー |
| ⑦ 安全スイッチ (ハンドルスイッチ) | ⑲ ホースフック | ㉖ キースイッチ |
| ⑧ 汚水ドレンホース | ⑳ 清水用タンクキャップ | ㉗ ディスプレイ |
| ⑨ 汚水用タンクキャップ | ㉑ スクイジー | ㉘ 作業速度回転ノブ |
| ⑩ ホームベース保持レール | ㉒ スクイジーロック | ㉙ 進行方向スイッチ |
| ⑪ 汚水用タンク | ㉓ ブラシヘッドペダル | |
| ⑫ バッテリー (中に入っています) | ㉔ スクイジーの傾斜調整 | |

色分け

- ・ クリーニングプロセスまたは日常のメンテナンスのコントロールは黄色です。
- ・ メンテナンスとサービスのコントロールは薄い灰色です。

機器上のシンボル



清水用タンクの排水口



汚水用タンクの排水口



清水用タンクレベル (25%)



充電器のプラグをここに挿入する



固定ポイント



* モップホルダー



注意

ここに充電器のプラグを接続しない

充電器のプラグをここに挿入しないでください



ブラシヘッドペダルを上げる / 下げる



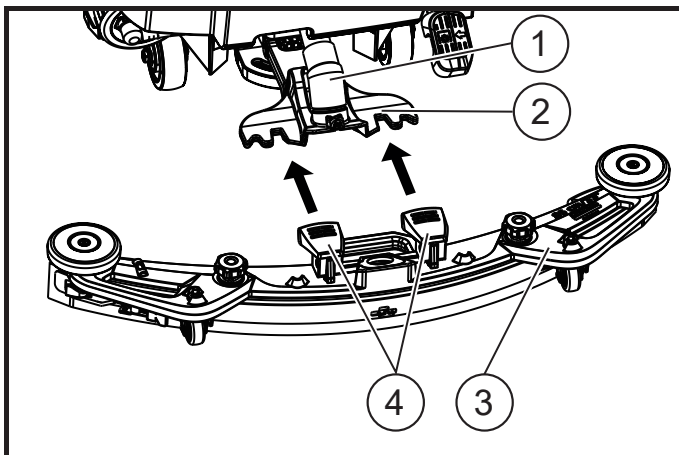
ブラシリリースペダル

* オプション

取り付け

スクイジーを取り付ける

1. 両方のスクイジークランプレバーを上回転させます。



- ① サクションホース
- ② スクイジーホルダー
- ③ スクイジー
- ④ スクイジークランプレバー

2. スクイジーをスクイジーホルダーに挿入します。

3. 両方のスクイジークランプレバーを下に回転させます。

バッテリー

BD 50/55 用推奨バッテリーセット

説明	注文番号
90 Ah - メンテナンスフリー	9548-176.0
115 Ah - メンテナンスフリー	9548-246.0

バッテリーの種類を変更する際は、充電器も変更する必要があります。詳しくは P.8「バッテリーを充電する」を参照してください。

メンテナンスフリーのバッテリー

注意

メンテナンスフリーバッテリーは危険なので絶対に開封しない
メンテナンスフリーバッテリーは、密封されたバッテリーケースになっています。蒸留水またはバッテリー補充液を補充する必要はありません。バッテリーケースを開けたり穴を開けたりすると、バッテリーが損傷するため、交換する必要があります。バッテリーケースを開けたり、穴を開けたりしないでください。圧力リリースバルブを覆ったり、改造したりしないでください。

1. メンテナンスフリーバッテリーの充電には、必ず指定された充電器を使用してください。P.8「バッテリーを充電する」を参照してください。

バッテリーを挿入して接続する

ご購入時は、すでに新品のバッテリーがセットされています。

注意

安全な場所で機器のバッテリーを交換する

- ・ バッテリーを交換するときは、機器が安全な場所にあることを確認してください。

バッテリーの極性を確認する

- ・ バッテリーを接続するときは、極性が正しいことを確認してください。

バッテリーを深放電させない

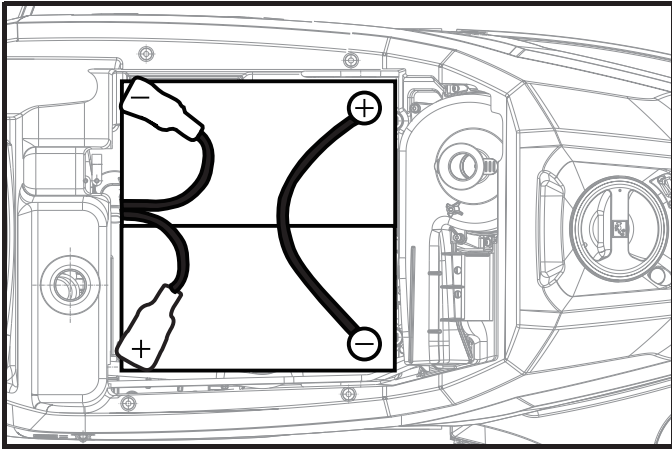
- ・ 機器を使用する前にバッテリーを充電してください。

1. 汚水用タンクが空になっていることを確認します。空でない場合、汚水を排出します。

2. 汚水用タンクを上を持ち上げます。

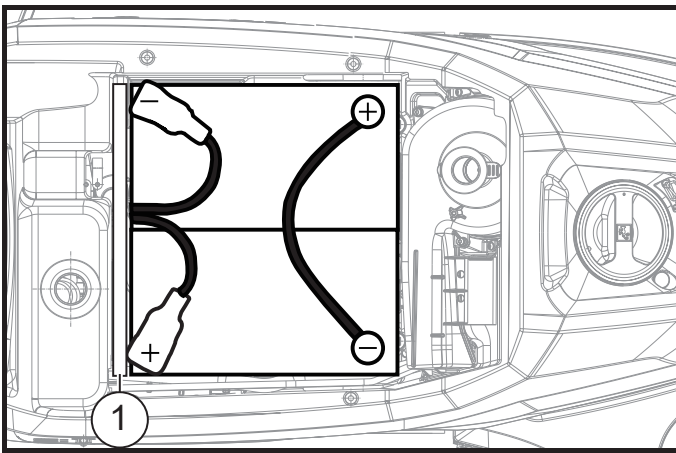
3.

図のように、バッテリーを機器に挿入します。



90 Ah, 9.548-176.0

115Ah, 9.548-246.0



4.

バッテリー取り付けキットの接続ケーブルを1つ目のバッテリーのバッテリー端子に接続します。

5.

接続ケーブルを2つめのバッテリーのバッテリー端子に接続します。

6.

機器側のバッテリー用コネクタをバッテリー側のバッテリー用コネクタに接続します。

7.

汚水用タンクを下に閉じます。

バッテリーを取り外す

⚠ 注意

安全な場所で機器のバッテリーを交換する

バッテリーを交換するときは、機器が安全な場所にあることを確認してください。

1.

キースイッチを「0」の位置に回して、キーを取り外します。

2.

バッテリー用コネクタを外します。

3.

汚水を排出します。

4.

汚水用タンクを上を持ち上げます。

5.

機器側のバッテリー用コネクタを、バッテリー側のバッテリー用コネクタから外します。

6.

バッテリー取り付けキットの接続ケーブルをバッテリーから外します。

7.

バッテリーを取り外します。

8.

使用済みのバッテリーは、各自治体の規定に従って廃棄してください。

機器の準備

バッテリーを充電する

⚠ 危険

電圧に注意して充電器を使用する

機器の銘板にある主電源電圧とヒューズの定格電圧に注意してください。

必ず十分に換気された乾燥した部屋で充電器を使用してください。

⚠ 注意

充電中にバッテリーから発生するガスに注意する

・メンテナンスフリーのバッテリーを充電する前に、汚水用タンクを上を持ち上げてください。

充電器を正しく接続する

・充電器を機器側のバッテリー用コネクタに接続しないでください。

必ず機器に取り付けているバッテリーのタイプに適した充電器を使用してください。

充電器メーカーの取扱説明書を読み、記載してある注意事項を遵守してください。

容量	注文番号
90 Ah (標準)	9.548-176.0
115 Ah (特別仕様)	9.548-246.0

充電時間は平均約 10 ~ 15 時間です。

充電中は機器を使用できません。

専用充電器 (バッテリーの容量によって異なります)

容量	注文番号
90 Ah 用	9.548-217.0
115 Ah 用	9.548-281.0

充電時間は平均約 10 ~ 15 時間です。

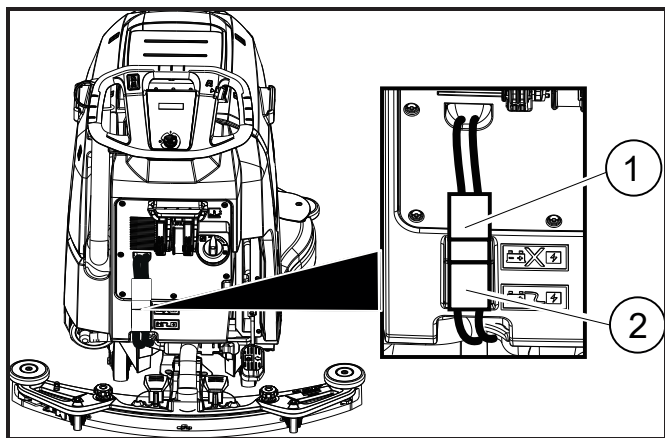
注意事項

機器は深放電保護機能を備えています。バッテリーの残量が規定値まで減ると、ブラシモーターとタービンがオフになります。

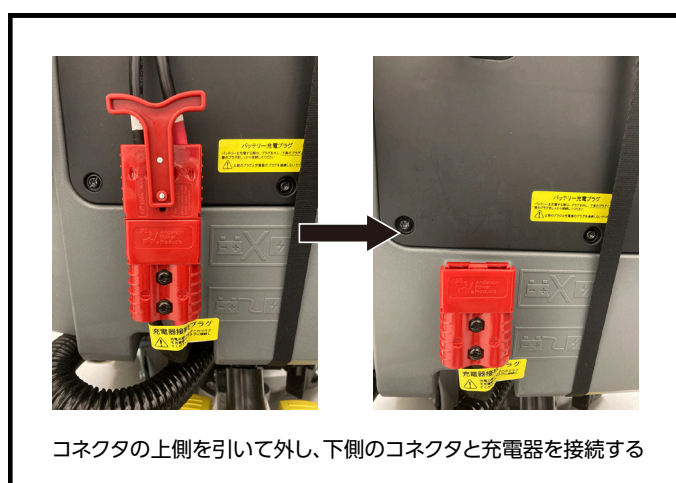
1.

傾斜を避けて、機器を充電器に直接接続できる場所まで使用します。

2.
機器側のバッテリー用コネクタを取り外します。



- ①バッテリー用コネクタ（機器側）
②バッテリー用コネクタ（バッテリー側）



コネクタの上側を引いて外し、下側のコネクタと充電器を接続する

- 3.** バッテリー用コネクタ（バッテリー側）を充電器に接続します。
4. 充電器の電源プラグをコンセントに挿入します。
5. 充電器の取扱説明書の内容に従って充電作業を行ってください。
6. 充電が完了したら、バッテリー用コネクタ（機器側）をバッテリー用コネクタ（バッテリー側）に接続します。

機器の使用

⚠ 注意

危険なときは使用を停止する

危険な場合は安全スイッチ（ハンドルスイッチ）を放して使用を中止してください。

水と洗剤の補充

水を補充する

- 1.** 清水用タンクの栓を開けます。
2. 清水用タンクキャップの下端まで水(最大 50° C)を補充します。
注意事項
水用ホースは、水の補充中にホースフックで留めることができません。
3. 水の補充が終わったら、清水用タンクの栓を閉めます。

洗剤に関する注意事項

⚠ 警告

推奨外の洗剤を使用しない

必ず推奨される洗剤を使用してください。その他の洗剤の場合、操作上の安全性と事故発生の観点から、使用者にとってたいへん危険です。洗剤は、必ず溶剤、塩酸、フッ化水素酸を含まないものを使用してください。洗剤の安全注意事項を守ってください。

注意事項

発泡性の高い洗剤は使用しないでください。

推奨される洗剤

用途	洗剤
工業用床のメンテナンスクリーニングと基本クリーニング	RM 69 ASF
細かい石のタイルのメンテナンスクリーニングと基本クリーニング	RM 753
衛生エリアの清掃と除菌	RM 732
すべての耐アルカリ性の床（PVC など）の剥ぎ取り	RM 752
ワックスの剥離	RM 754

洗剤

- 1.** 清水用タンクに洗剤を注ぎます。
注意事項
清水用タンクキャップのカバーを使用して、正しい量の洗剤を測定できます。カバー内側に目盛りが付いています。

水の量を調整する

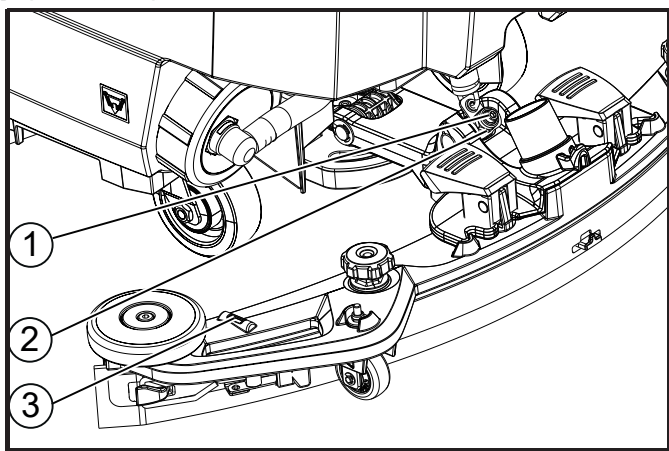
- 1.** 水量調整ノブを使用して、フロアの汚れ具合に応じて水の量を調整します。
注意事項
- はじめは少量の水で最初のクリーニングを試みます。目的の洗浄結果が得られるまで、水の量を段階的に増やします。
 - 清水用タンクが空になっても、ブラシヘッドはそのまま動作し続けます。

スクイジーを調整する

傾斜を調整する

スクイジーの傾斜は、スクイジーのスクイジーゴムが全長に沿って床に均等に押し付けられるように調整する必要があります。

1. 傾斜のない床に機器を置きます。
2. キースイッチを「ON」の位置に回します。スクイジーを置きます。
3. 機器を少し前方に動かします。
4. 水準器を読み取ります。



- ①ネジ
- ②ナット
- ③水準器

5. ナットを緩めます。
6. 水準器の表示が2本の線の間にくるようにネジを調整します。
7. ナットを締めます。
8. スクイジーの傾斜を確認するには、機器をもう一度、少しの距離だけ前に動かします。必要に応じて、調整手順を繰り返します。
9. キースイッチを「OFF」の位置に回します。

高さを調整する

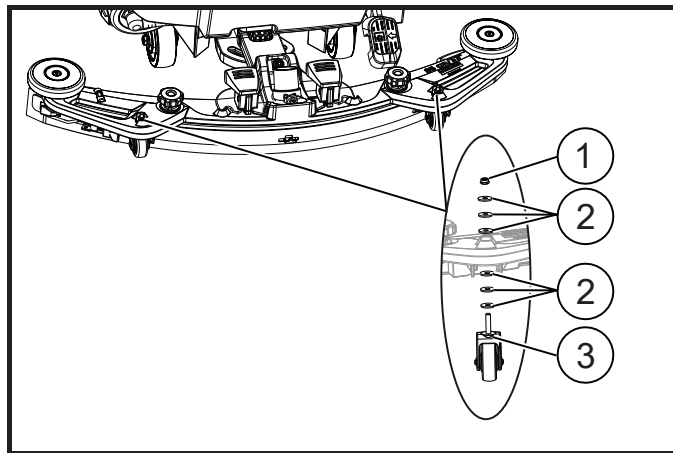
スクイジーの高さ調整は、スクイジーゴムが床に接触したときのスクイジーゴムの湾曲に影響します。

注意事項

標準設定: 上に3つのワッシャー、スクイジーの下に3つのワッシャー。
不均一な床: 上に5つのワッシャー、スクイジーの下に1つのワッシャー。

非常に滑らかな床: 上に1つのワッシャー、スクイジーの下に5つのワッシャー。

1. ナットを緩めます。



- ①ナット
- ②ワッシャー
- ③ホルダー付きスペーサーローラー

2. スクイジーとスペーサーローラーの間に必要な数のワッシャーを配置します。
3. スクイジーとスペーサーローラーの間に必要な数のワッシャーを配置します。
4. ナットをねじ込んで締めます。

注意事項

スクイジーのスペーサーローラー取付け部は、両方とも同じ高さに設定します。

クリーニング

機器のスイッチをオンにする

1. キースイッチを「1」に設定します。ディスプレイには次の項目が順番に表示されます。
 1. Kärcher
 2. 次のカスタマーサービスまでの時間
 3. バッテリーの充電状態と稼働時間
 4. ソフトウェアバージョン、コントロールパネル
 5. バッテリーの充電状態と速度

使用

注意事項

クリーニング中に進行方向を変えることができます。床の特定の部分を繰り返し数回前後に使用することで集中的にクリーニングできます。

1. 進行方向スイッチを「前進」に設定します。



クリーニング

- 吸引結果を改善するために、スクイジーの傾斜と高さを調整できます (P.10「スクイジーを調整する」を参照)。
- 汚水用タンクがいっぱいになると、フロートが吸引開口部を閉じ、サクシオンタービンが高速で動作します。この場合、スクイジーを持ち上げて使用し、汚水用タンクを空にします。

1. 作業速度回転ノブを希望の値に回します。設定中はディスプレイに速度が表示されます。速度は最大速度に対するパーセント表示です。
2. 水量調整ノブで水の量を調整します。
3. スクイジーレバーを押し下げます。スクイジーが下がります。吸引が始まります。
4. ブラシヘッドペダルを押し下げ、ペダルのロックを外してブラシヘッドを下げます。
5. 安全スイッチ (ハンドルスイッチ) をプッシュハンドルに向かって引きます。ブラシヘッドが起動し、機器は設定された速度で移動します。

使用の終了

クリーニングの終了

1. 安全スイッチ (ハンドルスイッチ) を放します。

2. ブラシヘッドペダルを押し下げて、ペダルをロックします。
3. 短い距離を使用します。床に残っている水を吸い取ります。
4. スクイジーレバーを押し上げます。スクイジーが上がります。吸引は 10 秒間続きます。
5. キースイッチを「0」に設定します。
6. 必要に応じてバッテリーを充電してください。

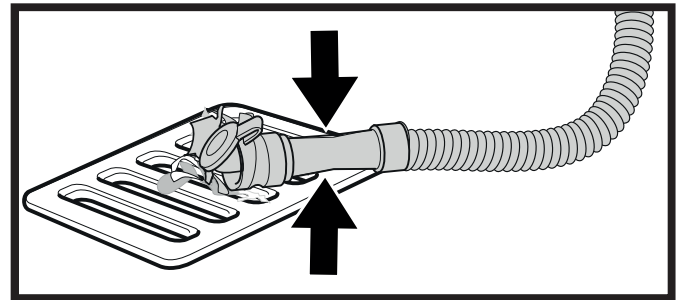
汚水を排出する

⚠ 警告

汚水を適切に処理する

汚水に関する各自治体の規定を遵守してください。

1. 汚水ドレンホースをホルダーから取り出し、適切な排水施設の上に降ろします。



2. ホースの上図部分を圧縮または曲げます。
3. ドレンホースのカバーを開けます。
4. 汚水を排出します。押し下ったり曲げたりして汚水の勢いを調整します。
5. 汚水用タンクをきれいな水ですすいでください。

清水をすばやく排出する

1. 清水用タンクの排水栓を緩めます。
 2. 清水を排出させます。
 3. 清水用タンクの排水栓を取り付け、しっかりとねじ込みます。
- 注意事項**
清水用タンクの排水栓をねじ込んだ後、ホース接続部分が最低点にあることを確認してください。

機器の運搬

⚠ 危険

傾斜での移動は角度に注意

上げ下ろしの際、傾斜の角度が機器で許容されている最大値を超えないように注意して機器を移動してください (P.17「テクニカルデータ」を参照)。

ゆっくり移動してください。

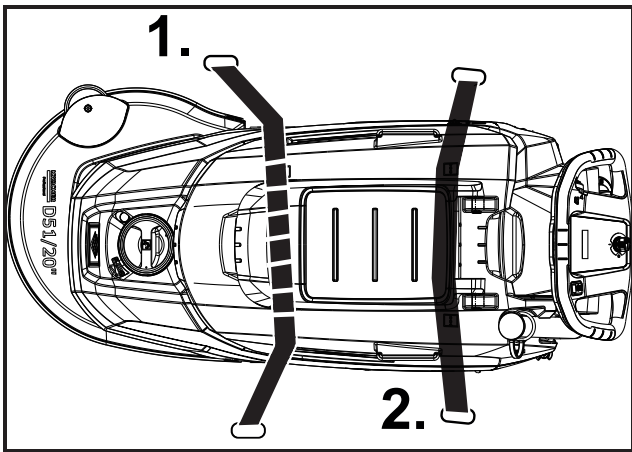
⚠ 注意

機器運搬時の転倒・転落を防止する

運搬するときは、機器の重量に注意してください。

機器の積み込み時は、必ず複数人で作業するか、積み込み用の機械を使用してください。

1. ブラシヘッドペダルを押し下げて、ペダルをロックします。
2. スクイジーを上げます。
3. キースイッチを「1」に設定します。
4. 進行方向スイッチで進行方向を選択します。
5. 安全スイッチ (ハンドルスイッチ) をグリップと一緒に握り、機器を動かします。
6. 車両での運搬時には、各運搬用機材のガイドラインに従って、固定用ベルトを使用して機器が滑ったり転倒したりしないように固定します。



保管

⚠ 注意

機器保管時の転倒・転落を防止する

保管の際には機器の重量に注意してください。

機器内に残留した水分の凍結を防止する

機器内部の水を完全に空にします。

機器は凍らない場所に保管してください。

- この機器は必ず屋内で保管してください。
- 長期間保管する前に、バッテリーを完全に充電してください。

- 保管中は、少なくとも月に 1 回はバッテリーを完全に充電してください。

お手入れとメンテナンス

⚠ 危険

意図せず機器のスイッチがオンになるのを防止する

機器のお手入れやメンテナンスを開始する前に、キースイッチを「0」に設定してキーを取り外してください。

充電器の電源プラグを抜きます。

- 汚水と清水を排出して処分します。

メンテナンス間隔

クリーニング後

⚠ 注意

故障を予防するために機器の清掃は適切に

機器に水をかけないでください。

溶解力の高い洗剤は使用しないでください。

個々のメンテナンス作業の詳細については、P.13「メンテナンス」を参照してください。

- 汚水を排出します。
- 汚水用タンクをきれいな水ですすいでください。
- 湿らせた布に中性洗剤を含ませて、機器の外側を清掃します。
- フロートフィルターを確認し、必要に応じて清掃します。
- 粗ゴミフィルターを清掃します。
- スクイジーゴムを清掃し、摩耗をチェックし、必要に応じて高さを調整するか新品に交換します。
- ディスクブラシに摩耗がないか確認し、必要に応じて交換します。
- バッテリーを充電してください。
 - » バッテリーの残量が 50%未満の場合は、バッテリーを最後まで完全に充電してください。
 - » バッテリーの残量が 50%を超えている場合は、次回使用時の稼働時間を考慮して、必要な場合にのみバッテリーを充電してください。

週に 1 回のお手入れ

- 機器を頻繁に使用する場合は、少なくとも週に 1 回、最後までバッテリーを完全に充電してください。

月に 1 回のお手入れ

個々のメンテナンス作業の詳細については、P.13「メンテナンス」を参照してください。

1. 清水用タンクを空にして、中にゴミが混じっているときは洗い流します。
2. 清水用フィルターを掃除します。

3.
フロートとフロートフィルターを掃除します。

4.
バッテリー端子の酸化・サビの程度を確認して、必要に応じてブラシで取り除きます。接続ケーブルがしっかりと固定されていることを確認してください。

5.
汚水用タンクとカバーの間のスポンジパッキンを清掃し、漏れがないか確認し、必要に応じて交換します。

6.
機器を長期間使用しない場合は、バッテリーを完全に充電した状態で電源を切る必要があります。少なくとも月に1回はバッテリーを完全に充電してください。

年に1回のお手入れ

・ カスタマーサービスに所定の検査を実施してもらいます。

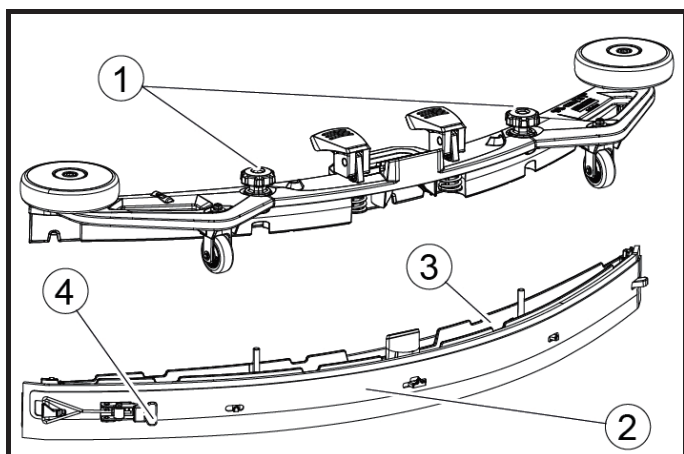
メンテナンス

スクイジーゴムを上下を反転して再使用するか交換する

スクイジーゴムが摩耗している場合は、上下を反転して再使用するか交換する必要があります。

1.
スクイジーを取り外します。

2.
取り付けネジを緩めます。



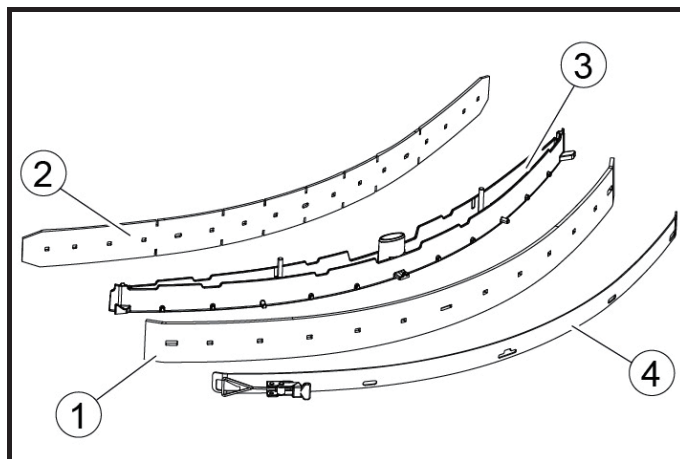
- ①取り付けネジ
- ②ストラップ
- ③スクイジーゴム取り付け台
- ④テンションロック

3.
スクイジーゴム取り付け台を引き出します。

4.
テンションロックを開きます。

5.
ストラップを外します。

6.
内側からスクイジーゴムを緩めます。



- ①リアスクイジーゴム
- ②フロントスクイジーゴム
- ③スクイジーゴム取り付け台
- ④ストラップ

7.
上下を反転した、または新しいスクイジーゴムをスクイジーゴム取り付け台のノブに押し付けます。

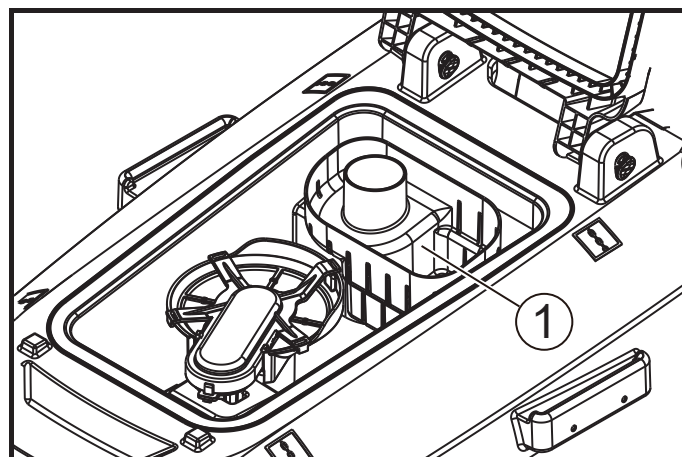
8.
ストラップを取り付けます。

9.
スクイジーゴム取り付け台を上部にスライドさせます。

10.
取り付けネジをねじ込んで締めます。

粗ゴミフィルターを清掃する

1.
汚水用タンクのカバーを開けます。



- ①粗ゴミフィルター

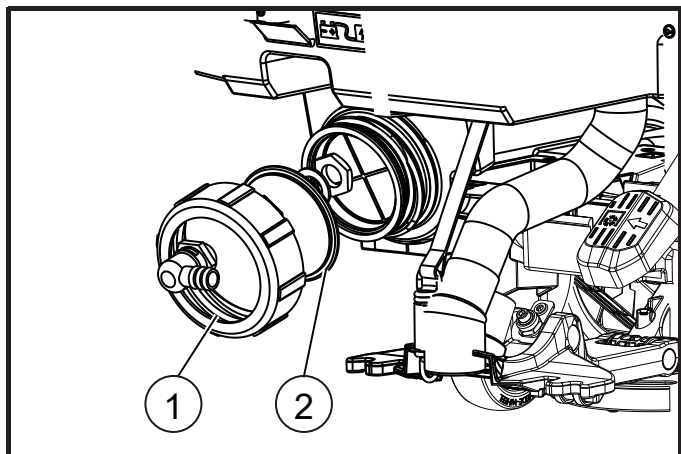
2.
粗ゴミフィルターを上引き抜きます。

3.
粗ゴミフィルターを流水ですすいでください。

4.
粗ゴミフィルターを汚水用タンクに挿入します。

清水用フィルターを掃除する

1. 清水を排出します (P.11「清水をすばやく排出する」を参照)。
2. 清水用タンクの排水栓を緩めます。



- ①清水用タンクの排水栓
- ②清水用フィルター

3. 清水用フィルターを引き出し、きれいな水ですすいでください。
4. 清水用フィルターを挿入します。
5. 清水用タンクの排水栓を取り付けます。

注意事項

清水用タンクの排水栓をねじ込んだ後、ホース接続部分が最低点にあることを確認してください。

2. ラッチングフックを外します。
3. フロートハウジングを下向きに引き抜きます。
4. フロートハウジングからフロートを取り外し、清掃します。
5. フロートフィルターを取り外して清掃します。
6. すべての部品を逆の順序で組み立てます。

ディスクブラシを交換する

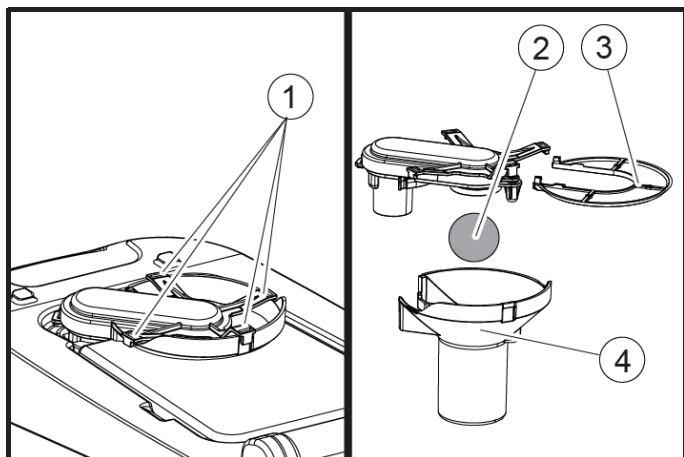
注意事項

ブラシの長さが 10mm まで摩耗したら、ディスクブラシを交換します。

1. ペダルを踏み込んでブラシヘッドを持ち上げます。
2. ブラシリリースペダルを踏みます。
3. ブラシヘッドの下からディスクブラシを引き出します。
4. 新しいディスクブラシをクリーニングヘッドの下に置き、押し上げて所定の位置にカチッとはめ込みます。

フロートとフロートフィルターを掃除する

1. 汚水用タンクのカバーを開けます。



- ①ラッチングフック
- ②フロート
- ③フロートフィルター
- ④フロートハウジング

故障かな？と思ったら

⚠ 危険

意図せず機器のスイッチがオンになるのを防止する

機器でお手入れやメンテナンスを開始する前に、キースイッチを「0」に設定してキーを取り外してください。
充電器の電源プラグを抜きます。

- ・ 汚水と清水を排出して処分します。
- ・ この表を使用しても解消できない障害が発生した場合は、認可カスタマーサービスに連絡してください。

⚠ 警告

死角の多い場所あるいは視界を妨げる茂み、木々など障害物のある場所では十分に注意してください。

障害	解決策
機器のスイッチがオンにならない	<ol style="list-style-type: none">1. キースイッチを「1」に設定します。2. 安全スイッチ（ハンドルスイッチ）を操作します。3. バッテリー用コネクタを挿入します。4. バッテリーを確認し、必要に応じて充電してください。5. バッテリー端子が接続されているか確認してください。
水の量が足りない	<ol style="list-style-type: none">1. 水のレベルを確認し、必要に応じて清水用タンクに充填します。2. 水量調整ノブを使用して水の量を増やします。3. 清水用フィルターを掃除します。4. ホースに詰まりがないか確認し、必要に応じて清掃します。
吸引力が低い	<ol style="list-style-type: none">1. 機器のスイッチをオフにして、汚水を排出します。2. 汚水用タンクとカバーの間のスポンジパッキンを清掃します。漏れがないか確認し、必要に応じて交換します。3. サクションホースが汚水用タンクに正しく接続されているか確認してください。4. フロートフィルターに汚れがないか確認し、必要に応じて清掃します。5. スクイジーのスクイジーゴムを清掃し、必要に応じて上下を反転して再使用または交換します。6. 汚水ドレンホースのカバーが閉まっていることを確認してください。7. スクイジーの調整を確認し、必要に応じて修正してください。8. サクションホースに詰まりがないか確認し、必要に応じて清掃します。9. サクションホースに漏れがないか確認し、必要に応じて交換します。
洗浄結果が不十分	<ol style="list-style-type: none">1. 作業速度回転ノブを下げます。2. ブラシの摩耗をチェックし、必要に応じて交換します。3. ブラシの種類と洗浄剤の適合性を確認してください。
サクションタービンが通常よりも高速で動作する	<ol style="list-style-type: none">1. 汚水を排出します。2. フロートを掃除します。3. フロートフィルターを確認し、必要に応じて清掃します。4. サクションホースに詰まりがないか確認し、必要に応じて清掃します。5. スクイジーに詰まりがないか確認し、必要に応じて詰まりを取り除いてください。
ディスクブラシが回らない	<ol style="list-style-type: none">1. 異物がディスクブラシの回転を妨げていないか確認し、必要に応じて異物を取り除いてください。

保証

保証書は日本国内でのみ有効です。保証期間中は、製造上の欠陥が原因とみられる故障に関しては無料で修理を致します。保証請求の際は、必ず販売日を証明するものをご提示ください。

消耗品や正常劣化・寿命の場合、また販売日を証明する書類のご提示がない場合は、有償となります。

ユーザー登録をして頂くと製品（アクセサリパーツ、洗浄剤を除きます）の保証期間が2年に延長されます。

対応アクセサリ

説明	部品番号	用途
ディスクブラシ (スーパーソフト)	4.905-028.0	敏感な床の掃除や磨きに。
ディスクブラシ (ソフト)	4.905-027.0	天然繊維製で、洗浄や研磨に使用。
ディスクブラシ (標準、赤)	4.905-026.0	一般的なクリーニング用、すべての床面用。
ディスクブラシ (ハード)	4.905-029.0	頑固な汚れやディープクリーニングに。耐久性のある床面のみ。
パッド取付ディスク (パッド台)、479 mm	4.762-534.0	パッドでの清掃に。クイックチェンジカップリングとセンターロック付き。
パッド、508 mm (ソフト、ベージュ)	6.369-468.0	床を磨くのに適した軽い粒子。
パッド、508 mm (標準、赤)	6.369-079.0	あらゆるタイプの床の清掃に。
パッド、508 mm (ハード、緑)	6.369-078.0	頑固な汚れの除去やディープクリーニングに。
パッド、508 mm (スーパーハード、黒)	6.369-077.0	汚れのひどい床の掃除やディープクリーニングに。
マイクロファイバーパッド、508 mm	6.371-271.0	優れた洗浄力。また、細かい石のタイルを効果的に洗浄します。
スクイジー本体、850 mm	4.778-008.0	パラボリックスキージ、耐摩耗性の赤いライナテックス製のスクイジーゴム、サポートローラー付き。
スクイジーゴム、33 インチ、赤	4.400-011.0	ライナテックス製、耐摩耗性。
スクイジーゴム、33 インチ、透明	4.400-005.0	PU 製、耐油性。

テクニカルデータ

		BD 50/55 W Classic Bp
機器のデータ		
公称電圧	V	24
バッテリー容量	Ah (5 h)	90 / 115
平均電力消費	W	880
トラクション動力	W	130
吸引力	W	250
ブラシ駆動力	W	500
理論上のエリアパフォーマンス	m ² /h	2550
清水用タンクの容量	l	55
汚水用タンクの容量	l	55
最大水温	° C	50
最大水圧	bar	0.06
最大傾斜作業範囲	%	2
吸引		
吸引力、風量	l/s	24
吸引力、負圧	kPa (mbar)	9.5 (95)
クリーニングブラシ		
作業幅	mm	510
ブラシ直径	mm	510
		BD 50/55 W Classic Bp
ブラシ回転数	1/min	140
ブラシ接触圧力	kg	≥ 27
重量など		
許容総重量	kg	230
自重 (運搬重量、バッテリーなし)	kg	115
EN 60335-2-72 に基づいて求めた値		
総振動値	m/s ²	<2.5
不確実性 K	dB(A)	0.2
音圧レベル L _{DA}	dB(A)	65.2
不確実性 K _{DA}	dB(A)	2
音響出力レベル L _{WA} + 不確実性 K _{WA}	dB(A)	84.1

技術的な変更が行われることがあります。

MEMO

MEMO



THANK YOU!
MERCI! DANKE! ¡GRACIAS!

➤ 延長保証について

品質に自信があるからこそその長期保証。
お客様が安心してお使い頂けるためのアフター
サービスを提供しています。
ユーザー登録をしていただくと製品(アクセサリ、
パーツ、洗浄剤を除きます)の保証期間が2年に
延長されます。



※ご購入後30日以内に、当社ホームページから
ユーザー登録が必要です。
期間を過ぎてからの登録は対象外とさせて
いただきます。

製品の登録はこちらから



https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/registry.html

➤ 製品のご用命、仕様に関するお問い合わせ

業務用製品コールセンター

Tel:045-777-7410

FAX:045-777-7411

受付時間:9:00～17:00 月曜～金曜日(祝日、当社休日を除く)

➤ 製品の故障、修理、技術に関するお問い合わせ

サービスフロント

お電話の際は事前に下記項目をご確認の上ご連絡ください。

①機種名 ②故障状況 ③保証書

TEL:0570-78-3140(ナビダイヤル)

受付時間:9:00～17:00 月曜～金曜日(祝日、当社休日を除く)

ホームページからのお申し込み受付

<https://forms.gle/RzbPVHMDGowcGx598>

一般修理依頼フォーム(診断・見積)



KÄRCHER

ケルヒャー ジャパン株式会社